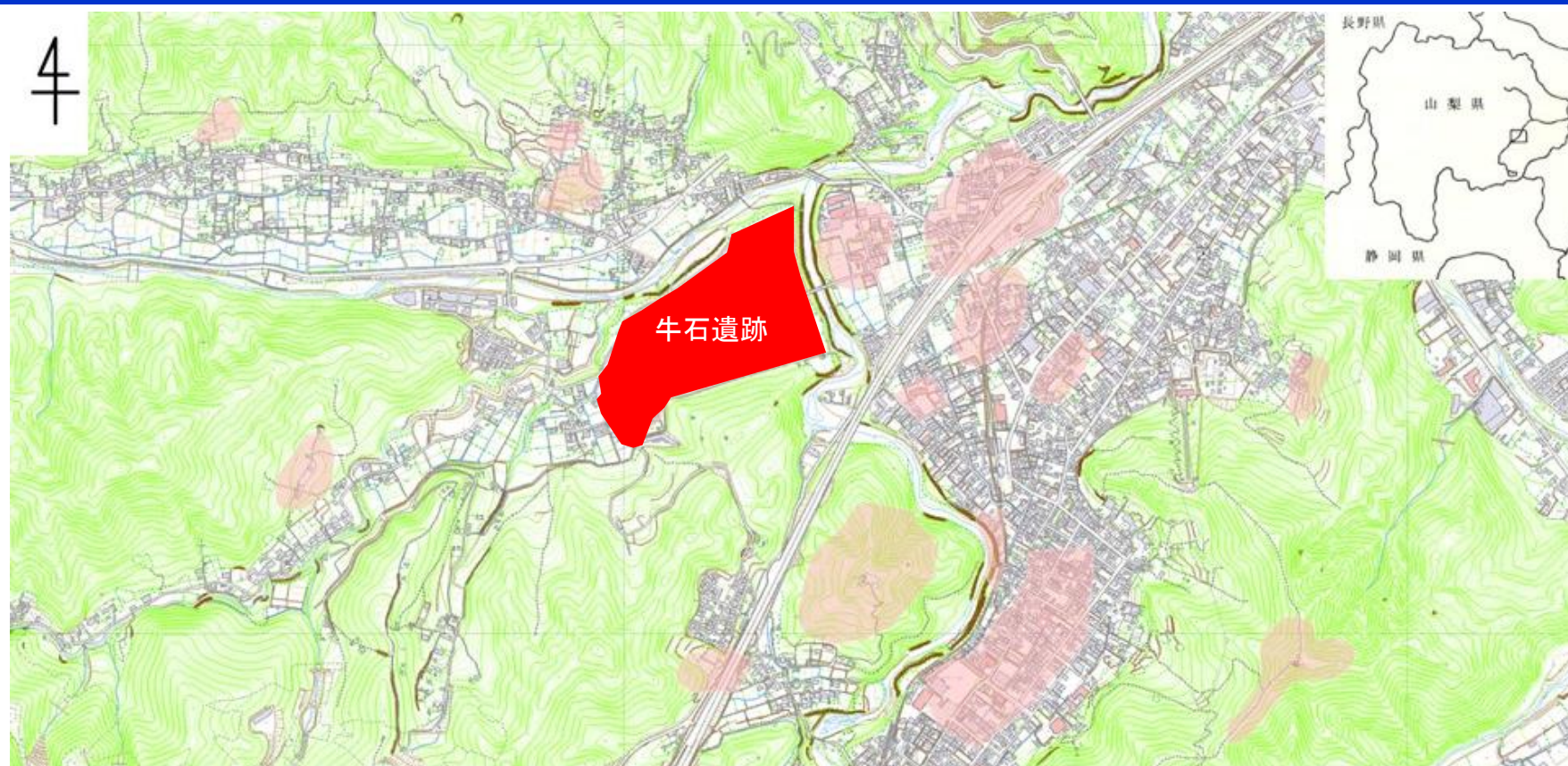


令和 7 年度 都留市文化財審議会
(第 1 回会議)
資料 1

「牛石遺跡におけるこれまでの動きについて」



◆ 現地打ち合わせ（12/24）時の写真



牛石遺跡の試掘調査に伴う経緯と今後の方向性について

◆ 経緯

- 牛石遺跡は、縄文時代から奈良・平安時代にわたる集落跡であり、昭和54年、55年、56年に圃場整備事業に伴う発掘調査が、昭和60年、61年には農道牛石線改良工事に伴う発掘調査が行われている。調査の結果、遺跡の東側半分には奈良・平安時代の集落跡が確認され、西側には縄文時代中期の大環状配石遺構を中心とする配石遺構群が確認された。
- 大環状配石遺構は直径50mに及び、東西南北に位置する小サークル状の配石遺構、それを連結する列石遺構、環状に巡る列石の内側に沿うように確認された組石という3つの配石で構成されている。また、配石遺構群と同時期の住居跡などの生活跡の存在が確認されている。環状配石は国史跡にもなり得る検出事例の少ない縄文時代の遺跡であり、さらに当該地は近年の学術研究において郡内地域の古代官衙（律令時代の行政機関）遺跡でもある可能性が指摘されている。
- なお、当遺跡は発掘調査が行われていた際の職員の異動などに伴い、昭和54～56年に実施した圃場事業の発掘調査報告書については現在も未刊行である。

◆ 今後の方針

- 企業誘致事業の対象地として牛石遺跡内が該当することを踏まえ、令和7年から順次試掘調査を実施するにあたって、新たに文化財主事（2名）を配置したが、試掘計画の作成や現場判断において、経験を加味した専門的な知見が求められるため、加えて人材育成も考慮した指導体制を整える必要があるため「牛石遺跡発掘調査指導委員会」を設置し、指導委員との意見交換の上、試掘業務を適切に進める。
- なお、指導委員会での協議事項や決定した方針については、適宜、文化財審議会での報告を行う。
- 過去在籍した職員にヒアリングするなど情報収集を行い、過去の調査成果と今回の調査成果を包含する報告書の刊行が必要である。

◆ 事業の最終目標

- 牛石遺跡を含む周辺の遺跡の範囲を把握し、今後の開発行為における発掘調査に活用する。また、今回の試掘結果を踏まえ、未刊行の報告書の作成に活用する。

牛石遺跡の試掘調査に伴う経緯と今後の方向性について

◆ これまでの調査結果概要

①昭和54年度調査
(第一次調査)

過去の調査資料があまり残されていないが、住居跡が23軒発見されていることが判明している（厚原土地改良総合整備記念事業実行委員会 1989『厚原地区土地改良総合整備事業記念誌』）。

（課題）過去の試掘・発掘調査についての報告書が刊行されていないため、住居跡の位置等、当時の発掘調査成果の詳細を把握することができない。

②昭和55・56年度調査
(第二・三次調査)

縄文時代中期末葉の大環状配石遺構を中心とする遺構が確認され、配石遺構内から、石棒や埋設土器が検出された。また、弥生時代の住居跡が3軒確認されている。

（課題）過去の試掘・発掘調査についての報告書が刊行されていないため、住居跡の位置等、当時の発掘調査成果の詳細を把握することができない。

③昭和60・61年度調査
(第四次調査)

限定された調査であったため、出土遺物は多くないが大環状配石遺構と同時期の住居跡が確認された。

（課題）調査範囲が限定的であることから、遺跡の全容について把握できていない。

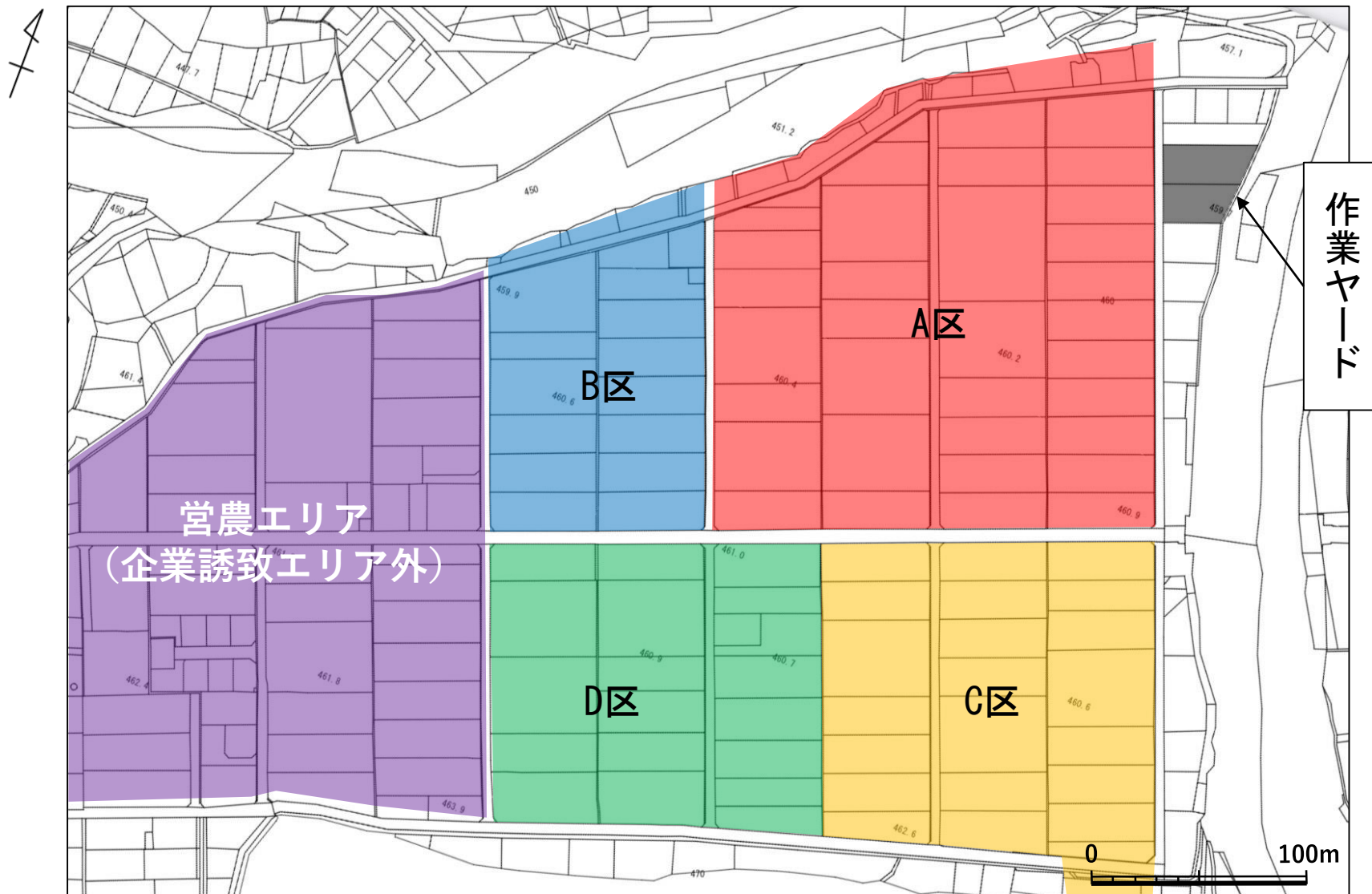
◆ 出土遺物の傾向

- ・ 縄文土器：縄文時代中期末葉の曾利式の土器が多く出土している。中には、前期末葉の十三菩提式のものや中期初頭の五領ヶ台式のものもみられる。
- ・ 縄文石器：打製石斧やスクレイパーが出土しており、頁岩製のものである。
- ・ 弥生土器：遺跡西側の弥生時代の住居跡から、甕形土器や小型甕形土器などが出土している。
- ・ 奈良・平安土器：奈良・平安時代の土師器片や須恵器片、盤状坏などが出土している。



牛石遺跡の大環状配石遺構

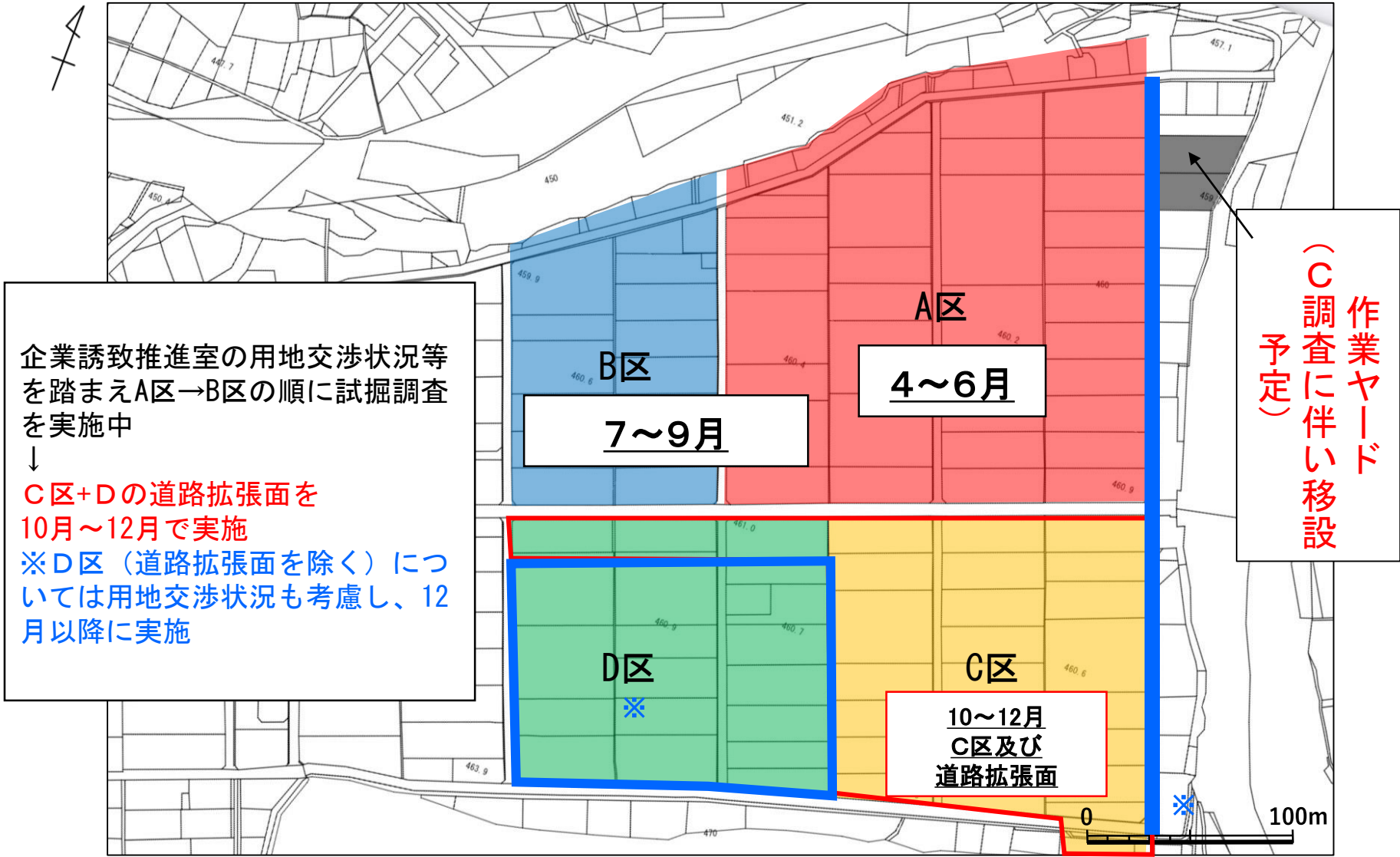
牛石遺跡出土
鉢形土器（縄文時代晩期）
安行3a式
第4次発掘調査出土牛石遺跡出土
深鉢形土器（縄文時代中期）牛石遺跡出土
深鉢形土器（縄文時代中期）牛石遺跡出土
甕形弥生土器（弥生時代中期）



各区画面積および総面積

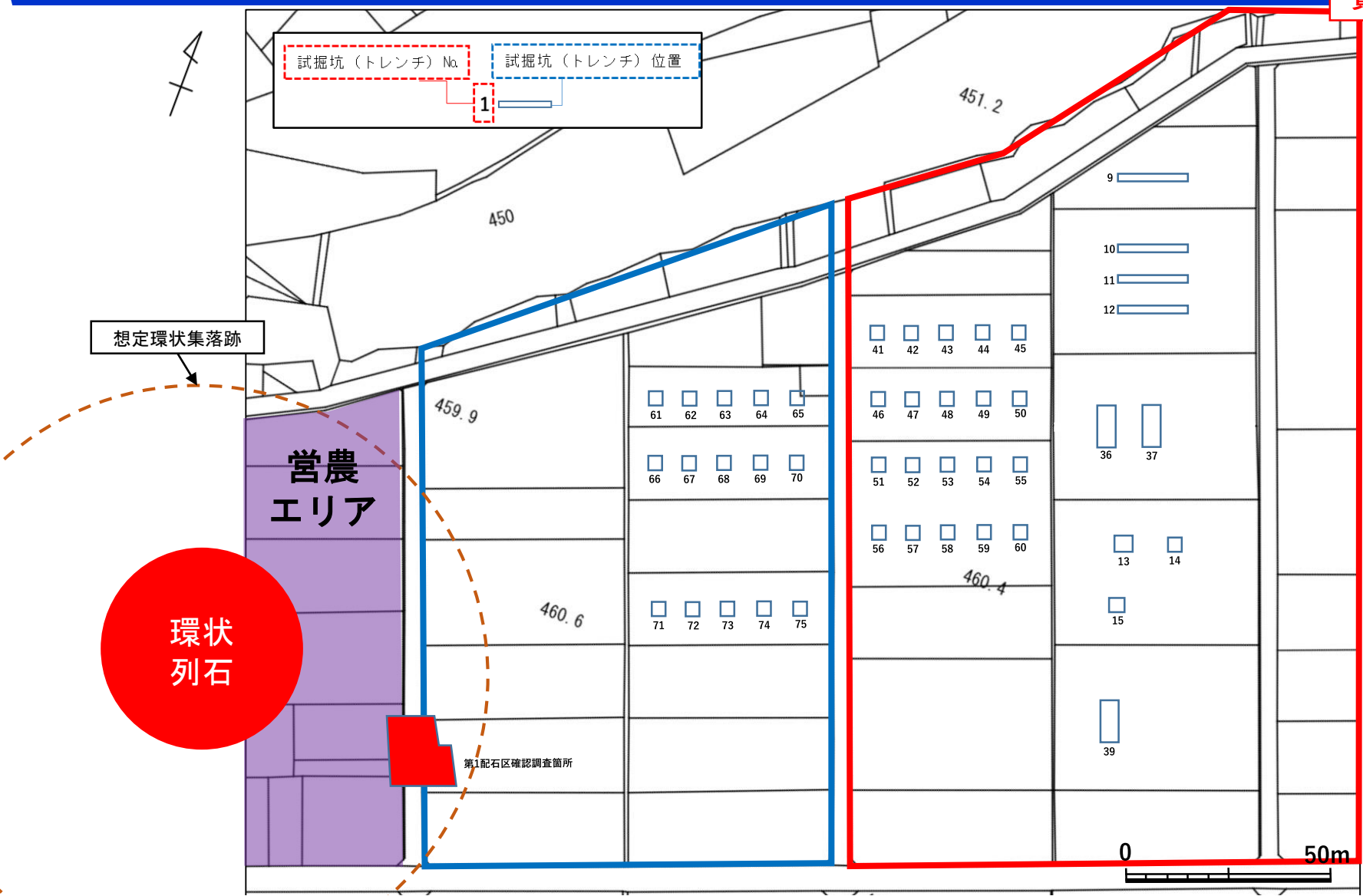
A区 : 39,645㎡ B区 : 14,053㎡ C区 : 24,305㎡ D区 : 19,931㎡ + 農道 合計118,568㎡

項 目		開始時期	令和5年度												令和6年度												令和7年度												令和8年度												令和9年度												令和10年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
農振除外	産業の導入に関する実施計画作成（農村産業法）	令和5年10月～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														



各画面積および総面積

A区 : 39,645㎡ B区 : 14,053㎡ C区 : 24,305㎡ D区 : 19,931㎡ + 農道 合計118,568㎡



【当初（試掘調査前）】

- ・環状列石に近い西側に縄文時代の遺構・遺物が高密度で確認され、東側は中央の道路沿いに奈良・平安時代の集落跡等が限定的に確認されるものと想定。

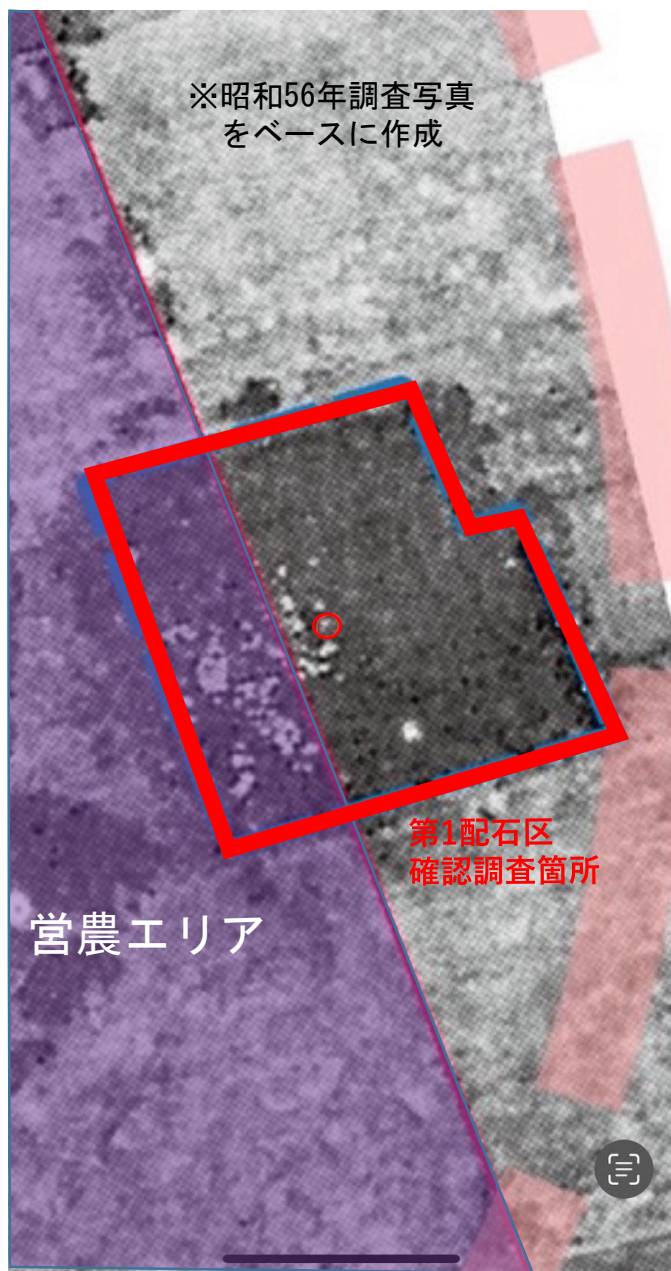
【現時点で判明している内容】

- ・A・B区画の試掘調査箇所全てで奈良・平安時代の住居跡や土坑、土器片等の遺構・遺物が確認（＝広範囲に遺構が広がっていることが判明）されている。
- ・昭和54（1979）～56（1981）年に調査された第1配石区にて再度確認調査を実施し、当時の遺跡の埋戻し状況を確認したところ、地表面下約0.9m付近で配石が検出された（＝若干の高低差はあるものの、約1m前後で縄文時代中期末葉の遺構が広がっているものと想定）。
- ・今後は引き続き試掘調査を継続し、奈良・平安時代/縄文時代の遺構の広がり、特に環状列石に伴う同時期の集落跡の広がりを確認する予定。

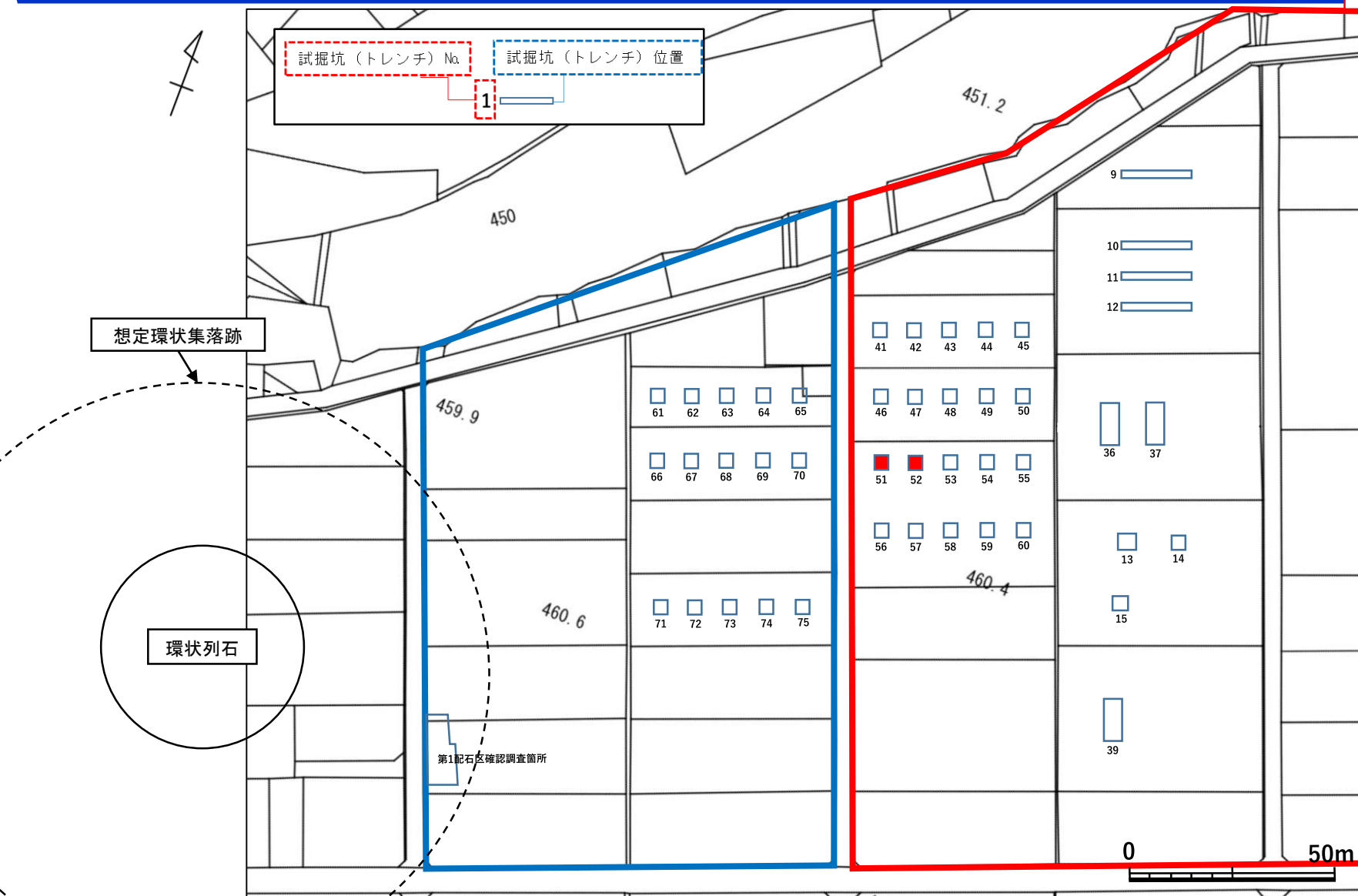
現在の試掘結果状況（A区画一部・B区画）（7/15時点）

- ・ 現地表-90cm付近にて、昭和56年に実施された圃場整備に伴う第3次発掘調査の際に検出された敷石の一部と想定される石が複数（いずれも径20～40cm程度）検出された。
- ・ 石はローム漸移層直上に点在している。
- ・ 過去試掘坑の範囲外では、現地表-40～50cm付近にて縄文時代中期の土器片が多量に出土している。しかし、住居跡の検出には至っていないため、引き続き調査を継続させる予定である。





- 上写真○の箇所が昭和56年調査で出土した配石の一部（右図○、もしくはその北側の石）と想定される。
- それ以外の配石については、農道に近接している箇所や営農エリア（企業誘致エリア外）範囲に位置するため掘削不可。
- また、一部用地交渉中の個所もあるため、その箇所については今後調査を行う。



【当初（試掘調査前）】

・環状列石に近い西側に縄文時代の遺構・遺物が高密度で確認され、東側は中央の道路沿いに奈良・平安時代の集落跡等が限定的に確認されるものと想定。

【現時点で判明している内容】

- ・A・B区画の試掘調査箇所全てで奈良・平安時代の住居跡や土坑、土器片等の遺構・遺物が確認（＝広範囲に遺構が広がっていることが判明）されている。
- ・昭和54（1979）～56（1981）年に調査された第1配石区にて再度確認調査を実施し、当時の遺跡の埋戻し状況を確認したところ、地表面下約0.9m付近で配石が検出された（＝若干の高低差はあるものの、約1m前後で縄文時代中期末葉の遺構が広がっているものと想定）。
- ・今後は引き続き試掘調査を継続し、奈良・平安時代/縄文時代の遺構の広がり、特に環状列石に伴う同時期の集落跡の広がりを確認する予定。

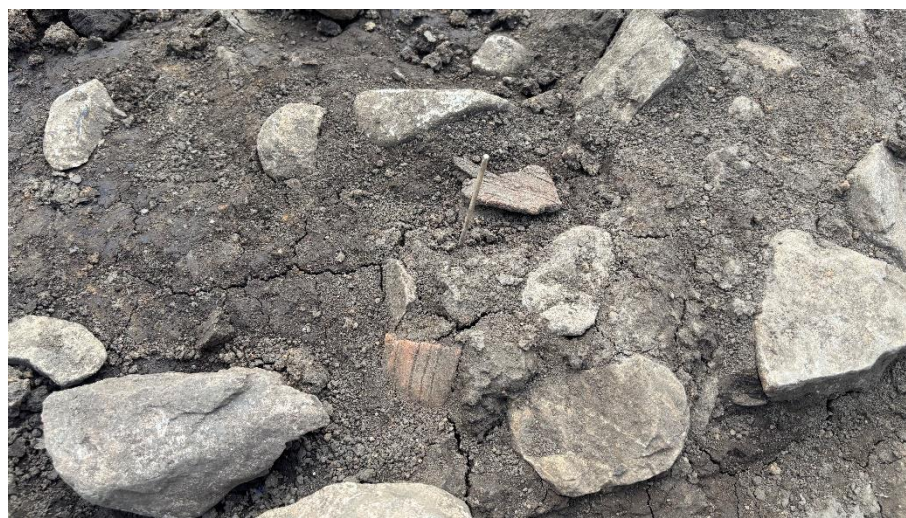
- ・ 現地表-80～90cm付近にて集石が（いずれも径5～15cm程度）検出。土坑に伴うものではないと想定。
- ・ 集石直上（現地表-65cm）に径2.5m程度の住居跡と想定される落ち込みが検出。集石との関係性は現時点で不明瞭。
- ・ 集石はローム漸移層直上に配置。
- ・ 集石に伴う土器片は現在のところ2点出土。



7/23撮影、試掘坑近景（北東から）



7/23撮影、南西側壁面

7/24撮影、土器片出土状況
（トレンチ中央付近）

7/24撮影、土器片2点



7/24撮影、南西側拡張時（北から）

- ・ 試掘坑51における集石は現時点で325° 北西方向と想定（上記赤矢印）。
- ・ 来週以降試掘坑南東側を拡張、集石の広がりや試掘坑52で検出されている集石と繋がるか確認予定。

- ・ 現地表-80～90cm付近にて集石が（いずれも径5～15cm程度）検出。土坑に伴うものではないと想定。
- ・ 集石はローム漸移層直上に配置。
- ・ 試掘坑51の集石検出状況とは異なり、密集している様子ではない。
- ・ 7/24に南西側拡張したものの、拡張部分では石があまり検出されていない。



7/23撮影、試掘坑近景（北東から）



7/23撮影、（南東から）



7/23撮影、北東側壁面



7/24撮影、南西側拡張時（南から）